

# のぞみ通信



生協のぞみ訪問看護ステーション発18.5.28(月) No32

こんにちは  
生協のぞみ訪問看護ステーションです

## 「一緒にリハビリする人」として 待ってられるのです！ by 同僚ナースより

昨年度 精神訪問看護研修に作業療法士が参加しました。

### ●感想は？ 社会参加や地域資源に視点の拡がり

これまでの訪問看護は・・・「どうしたら薬が飲めるか？」「どうしたら生活が安定するか？」  
学習後は・・・社会参加のためにどうしたらデイケアや就労支援につなげられるか、社会とのつながりをどうつくっていくことができるかに視点が拡がりました

### ●事例紹介

40代 女性 統合失調症

<経過>

陰性症状の悪化と生活リズムの崩れから入院。入院中、作業療法にて1～2時間くらい作業(塗り絵)行えており、午後からは病棟内散歩も行っていた。

2017年11月よりOTも訪問看護開始となる。

目的 「作業の継続」と「デイケアなど社会参加を促す」

しかし、ほぼ寝て過ごされるようになる



目的変更 「生活リズムを整える⇒散歩を取り入れる」「服薬がしっかりできる事」

訪問時、起きておられる時には看護師、OTとも、本人のしたいこと、行きたいところをうかがい、生活のメリハリや外出の機会を促していった。看護師が訪問しても横になったままであっても、OTが訪問すると一緒に少しずつ「自転車こぎをする」「家の廊下を歩く」ことができるようになりました。

冬には、薬の飲みにくさから服薬がきちんとできず陰性症状出現(独語)してきていたり、訪問中も寝ていることが増えていたりという状況が続き、主治医とお薬の調整を行いました。



今年の春には、一度だけだが玄関から自宅前の道路まで散歩に出かける事もできるようになりました。また、本人の好きな料理(ハンバーグ)をしたり、お弁当(型ぬき人参)を作ってお母さんとお花見に行ったりすることもできている。



再び当初の目的をめざして、本人のしたいことや外出を促しながら、できれば作業所に出かけるなど社会との交流ができるようになられるように看護師と連携した支援を続けたいと思っています。

